

製品名: カルネキシンマウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80634**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	Calnexin
別名	CNX; P90; CANX
遺伝子 ID	821.0
SwissProt ID	P27824
免疫原	ヒトカルネキシンのアミノ酸 (CEAAEERPWLWVVYILTVAL) に対応する合成ペプチドで、KLH に結合しています。

背景

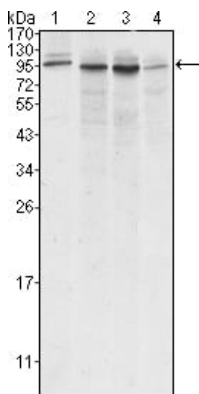
この遺伝子は、分子シャペロンであるカルネキシンファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、カ

ルシウム結合性の小胞体 (ER) 関連タンパク質であり、新たに合成された N 結合型糖タンパク質と一時的に相互作用し、タンパク質のフォールディングと組み立てを促進します。また、誤ってフォールディングされたタンパク質サブユニットを ER 内に保持して分解に供することで、タンパク質フォールディングの品質管理において中心的な役割を果たしていると考えられます。同じタンパク質をコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。

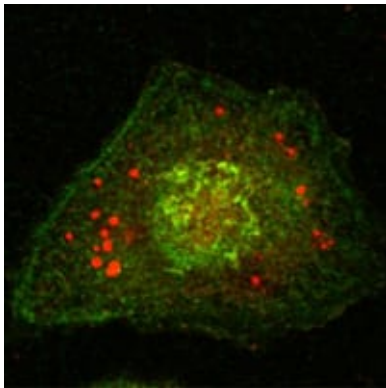
研究分野

-

画像データ



A431 (1)、Hela (2)、MCF-7 (3)、A549 (4) 細胞溶解物に対する Calnexin マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



Calnexin マウス mAb (緑) を使用した HeLa 細胞の共焦点免疫蛍光分析。